

六郷中だより

六郷中学校だより 第7号

令和 3年 7月21日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



オリンピック&市川・青洲高校音楽部 来校！

平年より3日早く関東甲信地方の梅雨が明け、いよいよ夏本番の季節となりました。おかげさまで、六郷中学校も予定した7月21日に1学期の終業式を迎えることができました。今年度も昨年度に引き続き、感染症対策を講じながらの学習活動や学校行事を実施してきましたが、幸い今年度の六郷中学校は全校生徒の人数が66名と小規模であるため、体育館に全員が集合整列しても、十分に互いの距離を保つことが可能です。そこで学期末となったこの時期に、外部の指導者をお招きしての2つのイベントを開催することができました。

1つ目は、山梨県のオリンピック・パラリンピック教育推進事業の指定校に本校が指定された関係で2012年ロンドンオリンピックの女子4×100mリレーに出場された富士川町のご出身の佐野夢加さんをお招きし、全校生徒を対象に講演会を開催しました。講演会では、聖火リレーの実物のトーチも披露していただきながら「やってみないと分からないので、興味のあることにチャレンジしてほしい」「一つひとつの小さな目標をクリアしながら次のステップにつなげてほしい」など、小3の頃に陸上を始めてからロンドンオリンピックに出場するまでのご苦労や挑戦してきたことについて、オリンピックならではの貴重なお話しをしていただきました。

2つ目は、市川高校・青洲高校の音楽部の皆さんをお招きしての合唱交流会です。昨年度は感染症対策で実施することができなかった合唱交流会ですが、今年度は合唱を披露していただく音楽部の皆さんには大変申し訳なかったのですが、感染症対策や熱中症対策をお願いする中で合唱の披露をしていただきました。音楽部の皆さんにはマスクの着用をお願いし、しかも会場となった体育館のすべての窓や扉を開け放ち、換気扇や扇風機を回しながら、時折セミの声も聞こえてくるという環境となってしまいましたが、暑い体育館に涼しげな澄んだ歌声が吹き抜けていきました。

学期末の2つのイベントをとおして、地域で活躍している方々に接することで、めざすべき姿や見本として、生徒たちに受けとめてもらえればと願っています。



マナーに裏付けられた交通安全を

千葉県で下校途中の小学生が飲酒運転のトラックにひかれてしまう痛ましい交通事故がありました。先日の生徒集会において生徒たちに「皆さんも登下校時や休日に自動車の横を歩いたり、自転車に乗ったりすることもあるでしょう。当然、交通ルールを守ることはもちろんですが、車を運転するドライバーの方とのコミュニケーションをとることを勧めます。たとえば、今からこの道を渡りたいと思い、車の途切れるのを待っていた時に、もし車が止まってくれたら、会釈でいいのでお礼をする、そんなコミュニケーションが積み重なると、互いのミスがなくなり、マナーやエチケットに裏付けられた交通安全につながっていくと思います。」といったお話をしました。同様の内容の鯉沢警察署のパンフレットをいただきましたので裏面に印刷しました。ぜひ、参考にしてみてください。

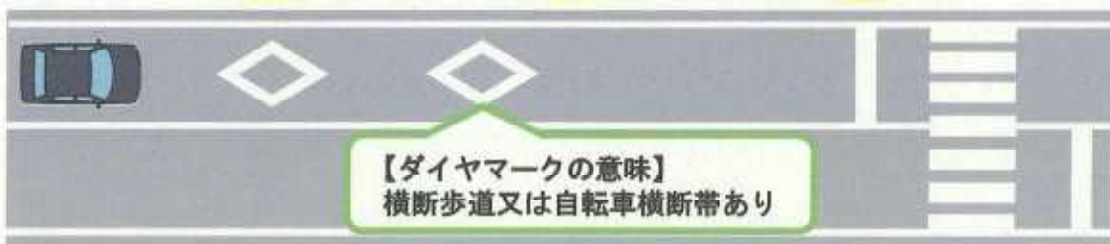
ダイヤチェック運動推進中

横断歩道は歩行者優先！

ダイヤマークを
チェック

歩行者の有無を
チェック

歩行者がいたら
一時停止



【ダイヤマークの意味】
横断歩道又は自転車横断帯あり

道路標示『◇』（ダイヤマーク）の先には横断歩道があります。
『◇』を確認（チェック）したら前方を確認（チェック）し、
横断歩行者や横断しようとする方がいたら、停止線の手前で
必ず一時停止しましょう。

ハンドサイン（ブラスー礼）運動推進中

横断するときは左右の安全を確認し
ハンドサインで横断する意思を伝えましょう

横断歩行者のハンドサインには
運転者は一時停止して
ハンドサインで応じましょう

横断者は感謝の気持ちを表しましょう

運転者が迷わずに停止できるよう
横断しないときは横断歩道の近くに
立たないようにしましょう



譲り合い、感謝の気持ちを忘れずに！

鯉 沢 警 察 署